

伝道者の書 — 導入

■ 伝道者の書は、旧約聖書の中でどんな役割をもつ書物なのか、他の詩歌との共通点・相違点を見て考える。その上で、1章はじめの導入部分と12章最後の結論部分に書かれている、この世で人が直面するふたつの大きな問題が、この書のテーマであることを確認する。

Q1. 4つの詩歌、箴言、伝道者の書、雅歌、ヨブ記の著者の共通点は何ですか？

箴言、雅歌とくらべて、伝道者の書とヨブ記の共通点は何ですか？

ソロモンもヨブも「知恵のある富豪」 注)ヨブ記28、38-42章

神様との関係が問題であり、問いと答え、ひとことの結論でまとめられている

Q2. 伝道者の書で教えていることは大きくふたつに分けられる。

人の上に立ちたいと思う者のふたつの欲は何か。

経済的繁栄：自分のあざで益を得たいいのちを得たい

政治的権力：自分で善良を決めたいさばきたい

アダムの例。サタンの誘惑。つまり神のようにになりたい

Q3. 伝道者の書で教えていることは大きくふたつに分けられる。

人の下になったときに問題となるふたつの罪は何か。

心酉記「ああ、どうなるんだろう。死んでしまふんじゃないか。」

文句「なぜこうなんだ。なにやってるんだ。」

出エジプトの救いの後の民の例

Q4. 伝道者の書で教えていることは大きくふたつに分けられる。

人間がなすべき事は片方にしか書かれていない。

ソロモンの願いと山上の説教の教えを通して説明せよ。

神の国とその義とを第一に求めなさい。そうすればそれに加えてすべてのものは与えられる。

Q5. 1章の導入結論は「神様の知恵」について語っていることをヨブ記を通して説明せよ

ヨブ記38章、42章 天地を支配する神の知恵、その知恵を耳で聞いたが目で見たいと願った

1章は、風を羊飼いする神様、12章は知恵のある羊飼いの命令